

令和 2 年度中部森林管理局事業評価技術検討会（書面審議）

審議概要

森林環境保全整備事業「長野県 中部山岳森林計画区」（事前評価）

委員からの意見・質問	中部森林管理局の回答
総費用の計算に当たっては、路網整備による経費削減「前」の条件設定となっているのか。	総費用は過去に実施した事業における平均単価×森林整備及び路網整備の数量で計算していることから、経費削減「前」の条件設定に相当すると考えている。
林齢の構成をみると 15～17 齢あたりの人工林蓄積がかなり少ないが、このことは山村の活性化の項にある「山村の生活基盤の向上」の不安定要因とならないか。	齢級構成も踏まえて将来の事業量を計画するので、15～17 齢級における人工林蓄積が少なくても、「山村の生活基盤の向上」の不安定要素になることはないと考えている。
水質浄化便益はもっとも評価額の高い便益であり、その算出には、上水道供給単価の金額が用いられているが、下水道分も含まれているのか。 また、市町村の単価が算出に用いられているようだが、計算に含まれていない市町村があるのはなぜか。	単価には下水道分は含めていない。上水道供給単価については、本計画を実施する国有林が所在する市町村の平均単価を採用している。